

「香川同友の森」で、第1回目の間伐を実施 ～フォレストマッチングで協働の森づくり～

去る6月7日、日曜日、県中小企業家同友会の会員とその家族の皆さん40人が、高松市塩江町で、間伐活動を行いました。

これは、本年4月22日に、県、同友会、塩江町森林組合で協定を結んだ「フォレストマッチング協働の森づくり」協定にもとづくもので、森づくり活動に取り組みました。



<活動を終え、グループごとに記念撮影>

県の職員から間伐の方法や注意事項について説明を聞いた後、参加者は4つのグループに分かれ、県や森林組合のサポートを受けながら、間伐作業に取り組みました。

使い慣れないノコギリで悪戦苦闘。直径が20センチ近くもあるヒノキが倒れたときには大歓声が沸き上がり、参加者からは笑顔が見られました。

伐倒後の玉切り、枝払い、集積作業では子どもたちも大活躍。

開始当初、空一面を覆っていた薄雲も、みんなの熱気でどこかへ行ってしまいました。



<汗だくになりながらの必死の間伐>



<枝払いをする子どもたち>



<玉切りをする香川県中小企業家同友会の皆さん>



<間伐して日が射し明るくなったヒノキ林>

間伐終了後、参加者からは「今日まで木は切らない方が森林のためだと勘違いしていた。間伐することで森林が元気になることがわかった。これから子どもたちに森林環境教育を進めたい」などの意見が出ました。

みんなの力で整備され、元気になった「香川同友の森」はきっと豊かな恵みをもたらしてくれることでしょう。

香川県中小企業家同友会は、0.5haの区域を今年から5年間、活動を続けることにしており、この秋にも間伐を予定しています。